

平成30年度 強い農業づくり交付金成果目標の達成状況について

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② (対象作物・畜種等名)②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時	1年後	2年後	3年後	目標値	達成率				計画時	1年後	2年後	3年後	目標値	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
松山市	えひめ中央農業協同組合	果樹 (かんきつ)	ブランド製品の全出荷量に占めるブランド品の割合を20.1ポイント増加 (ブランド品の出荷量 1,111.7t/全出荷量 2,227.4t)	49.9%	70.6%	61.7%	67.5%	70.0%	87.6%	ブランド品の割合が17.6ポイント増加した	果樹 (かんきつ)	全出荷量に占める果樹産地構造改革計画における振興品種の割合を15.1ポイント増加 (振興品種の出荷量 3,095.2t/全出荷量 7,482.7t)	41.4%	53.6%	56.9%	57.5%	56.5%	106.6%	振興品種割合が16.1ポイント増加した	集出荷貯蔵施設 品質評価機 一式 【年間処理量 10,740t】	559,440,000	248,480,000	34,339,000	276,621,000	H28.11.25	振興品種の出荷割合は計画どおり高めることができた。一方でブランド品の出荷割合は向上しているものの、近年の異常気象や昨年の豪雨被害等で品質の低下があり、目標を下回った。今後も肥培管理の徹底を図り、高品質・連年安定生産するために果樹技術員の園地巡回を実施し、ブランド品の出荷割合増加を図る。 また全出荷量については農業者の高齢化・担い手不足により柑橘総面積は減少傾向となっている。新規就農研修センターの卒業生や新規就農者が就農定着を図れるよう努め、出荷量の増加を目指す。また、振興品種の愛果28号、甘平等の面積は拡大傾向となっており、今後出荷量の増加が見込まれる。未結果園についても、早期成園化を図り連年安定生産に努める。	振興品種の出荷量の割合は成果目標を達成している。 しかし、ブランド品の出荷量に占める割合は計画時点より増加しているものの豪雨災害等による品質低下により、未達成となった。 今後は気象予測を踏まえた肥培管理の徹底等を行うことで高品質・連年安定生産に努めるよう指導する。		